

1 はじめに

昨年度から準備を進めてきた事業再編が平成29年4月に行われる。これに伴い、夢の樹みどりの利用者35名が当事業所の所属に変更となり、利用定員も30名から50名へと大幅に増えることになる。これまで別々の活動を行ってきた2つのグループが一つの事業所になるが、日常の活動については大幅な変更は行わず、利用者が慣れた環境で、これまでどおりの活動が継続できるようにすることを29年度の事業の中心に据えて臨みたい。2つのグループの活動場所を建物の1階、2階に分け、作業内容や一日の流れについては各グループとも昨年度までと同じとしたい。また、職員は各グループに専属の配置とし、グループごとに支援にあたるという形をとりたい。職員の一部に異動はあるが、これまで活動を一緒に行ってきた多くの職員が各グループに残るため、個々の利用者支援についてもこれまでの経緯を踏まえて行えるものと考えている。

各グループが別々に活動することを基本とするが、事業所としては一つであり、行政手続き、施設設置基準、給付費の請求、会計処理、労務管理またその他の対外的な手続き、取引、契約等は統一されて行われなければならない。グループ間の情報共有や連絡調整はきわめて重要な事項となり、どのような仕組みで行うかが大きなテーマであったが、これについては、各グループにリーダーとなる職員を配置し、施設長との相互連絡を密に行うことで対応できると考えている。

新たなスタートとなる年である。まずは利用者に混乱がないように安定して活動が継続できる環境をつくること第一に考えながら、事業の規模が大きくなったことの利点の発見に努め、発展的な工夫や事業展開についても考えていけたらと考えている。

2 事業概要

- 1) 施設名 ワークセンター夢の樹
- 2) 事業種別 就労継続支援B型事業
- 3) 所在地 小平市大沼町2-1-3
- 4) 運営主体 社会福祉法人 未来
- 5) 利用定員 50名
- 6) 利用現員 75名（平成29年4月1日時点）
- 7) 法人認可年月日 平成14年12月11日
- 8) 事業開始年月日 平成20年4月1日
- 9) 職員
管理者 1名
サービス管理責任者 1名
職業指導員 7名（常勤換算6.4）
生活支援員 8名（常勤換算5.4）
目標工賃達成指導員 2名（常勤換算2.0）

職員グループ別内訳

- ・あかしあグループ
職業指導員 3名（常勤換算2.6）
生活支援員 4名（常勤換算2.7）
目標工賃達成指導員 1名（常勤換算1.0）
- ・みどりグループ
職業指導員 4名（常勤換算3.8）
生活指導員 4名（常勤換算2.7）
目標工賃達成指導員 1名（常勤換算1.0）

- 3 基本理念 一人ひとりの自己実現。
互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築。

安心と希望のもてる生活。

・ 1階グループ

- 1 基本方針 利用者個々の特性にあった作業の保障
生き生きと働ける職場
職業指導の充実
賃金の保障
日中活動の保障
豊かな生活の支援
利用者一人ひとりの主体的な生活の支援
個別支援計画に基づいた計画的な支援
利用者への相談支援
安心できる将来への支援

2 実施事業（活動内容）

1) 就労支援事業

- (1) 補助錠の加工
- (2) 傘の値付け
- (3) ダイレクトメール封入、封緘
- (4) 小平市報の折り、封入、封緘
- (5) 電化製品の基盤解体作業
- (6) 公園清掃
- (7) 神社清掃
- (8) 入所施設清掃
- (9) 事務封筒製作
- (10) 緑化推進事業

2) 行事

- (1) 年間計画
4月 春のバスハイク
5月 小平市障がい者運動会
8月 夏のバスハイク
10月 秋の一泊旅行（未定）
12月 お疲れ様会
1月 初詣
- (2) その他
喫茶（月2回）

3 日 課

開所・送迎	8:30～9:40
朝会	9:40～9:50
作業	9:50～10:50
休憩	10:50～11:00
作業	11:00～12:00
昼食	12:00～13:00
作業	13:00～14:00
休憩	14:00～14:10
作業	14:10～15:10
片付け	15:10～15:15
終礼	15:15～15:20
送迎・清掃	15:20～16:20
作業点検、記録等	16:20～17:00

4 重点課題・目標

1) 利用者の健康保持

利用者の生活状況、留意事項一覧表を基に日々の体調観察に努める。変化等があった際は家族に連絡を取り、必要があれば医療機関に直接電話連絡を行う。

2) 道具の活用による利用者の作業能力向上

作業用ルーペ、ピンセットなどの道具の使用や必要に応じた自助具の開発により、利用者が作業の可能性の向上を図る。

3) 安定した作業提供

利用者の作業が途切れないように計画的に作業を受注する。

4) 利用者の生活課題への対応

28年度に作成した生活上の課題に関する留意事項一覧表の見直しを行い、課題の早期発見と必要に応じて関係機関との連携による支援を行う。

5 その他の課題・目標

1) グループ間の連携

各グループにリーダー職員を配置し、施設長と連絡を密に取ることで情報共有や相互協力を実施し、組織として一体的に事業が行えるようにする。

2) 作業収益の増加

安定した受注、作業の効率化、新規作業開拓などで作業収益の増加を図る。

6 環境の整備

施設内外の美化と利用者周辺の整理整頓につとめ、危険の防止に努める。

7 健康管理

定期的に健康診断・身体測定を行い、健康状態の把握に努めるとともに、利用者の家族・保健士等との連携を密にし、健康管理・疾病の予防に努める。

8 防災計画

管理者の指揮のもとに、非常災害訓練を年2回実施する。

総指揮 管理者

連絡担当 職業指導員及び生活支援員

救助担当 職業指導員及び生活支援員

9 資金計画

通常の運営経費は、運営費でまかなう。

・ 2階グループ

1 基本方針 利用者個々の特性にあった作業の保障

生き生きと働ける職場

職業指導の充実

賃金の保障

就労移行支援との連携

日中活動の保障

豊かな生活の支援

利用者一人ひとりの主体的な生活の支援

個別支援計画に基づいた計画的な支援

利用者への相談支援
安心できる将来への支援

2 実施事業（活動内容）

1) 就労支援事業

- (1) ポスティング作業
- (2) 焼き鳥の串刺し
- (3) 作業マンション清掃
- (4) 事務封筒製作
- (5) 緑化推進事業
- (6) 空き缶つぶし
- (7) ダイレクトメール封入・封緘
- (8) 公園清掃
- (9) 資源回収

2) 生活支援事業

- (1) 生活支援プログラム（週3日実施）
- (2) 夕方生活支援事業（週3日実施）

3) 行事

(1) 年間行事

- 4月 永年勤続表彰式・新社会人を祝う会
- 5月 小平市障がい者運動会
- 6月 未定
- 7月 未定
- 8月 川遊び、みんなの音楽会
- 9月 未定
- 10月 秋の一泊旅行（未定）
- 11月 未定
- 12月 忘年会
- 1月 成人を祝う会
- 2月 未定
- 3月 未定

(2) その他

- 音楽教室（月2回）

3 日 課

開所・送迎	8：30～9：00
朝礼	9：00～9：20
準備	9：20～9：40
作業	9：40～10：40
休憩	10：40～10：50
作業	10：50～11：50
休憩	11：50～13：00
昼礼	13：00～13：10
作業	13：10～14：10
休憩	14：10～14：20
作業	14：20～15：20
実績票記入	15：20～15：30
終礼・お茶	15：30～15：40
送迎・清掃	15：40～16：30

作業点検・記録等 16:30～17:00
職員打ち合わせ 17:00～17:30

4 重点課題・目標

- 1) 利用者一人ひとりの作業に対するやりがいと責任感の構築
やりがいと責任感を持って利用者一人ひとりが作業に従事できるよう、以下の2点を今年度の重点目標として取り組む。
 - (1) 一人ひとりに対して職業指導計画を作成し、目標設定を明確にすることで職業指導の充実を図る。
 - (2) 一人ひとりの作業レベルや状況に合わせた、声かけ、作業目標の設定とその達成度の共有など行い、作業意欲の向上を図る。
 - 2) 就労支援事業収入の収益拡大
工賃向上を図るために、就労支援事業収入の前年度比130万円アップを目標とする。各事業の年間売上目標は以下の通りとする。
 - (1) 資源回収事業収入 680万円（前年度比80万円増）
⇒資源回収先を新規開拓し、1か月の回収量4,000キロ増加を図る。
 - (2) 受注事業収入 270万円（前年度比50万円増）
⇒ダイレクトメール作業を大幅に増加し、1か月の目標受注量を前年度比14,000部増の22,000部とする。
 - 3) 利用者の日中活動の保障
事業再編に伴う環境の変化に利用者が不安を感じないように、一人ひとりとのコミュニケーションを大切にし、安定して通所できるように支援する。
- #### 5 その他の課題・目標
- 1) グループ間の連携
各グループにリーダー職員を配置し、施設長と連絡を密に取ることで情報共有や相互協力を実施し、組織として一体的に事業が行えるようにする。
- #### 6 環境の整備
- 施設内外の美化と利用者周辺の整理整頓につとめ、危険の防止に努める。
- #### 7 健康管理
- 定期的に健康診断・身体測定を行い、健康状態の把握に努めるとともに、利用者の家族・保健士等との連携を密にし、健康管理・疾病の予防に努める。
- #### 8 防災計画
- 管理者の指揮のもとに、非常災害訓練を年2回実施する。
総指揮 管理者
連絡担当 職業指導員及び生活支援員
救助担当 職業指導員及び生活支援員
- #### 9 資金計画
- 通常の運営経費は、運営費でまかなう。